

2008年8月28日

中部大学総合工学研究所 教授 武田邦彦様
株式会社 洋泉社 代表取締役会長 藤森建二様
代表取締役社長 石井慎二様

『環境問題はなぜウソがまかり通るのか』に関して

標記の本に関する当団体の申し入れに対し、武田氏より平成20年7月27日付けで返信をいただきましたが、ご回答の論点がずれておりますので、再度お送りさせていただきます。

7月27日付の武田氏のご回答によると、当該グラフは、当団体が古紙再生促進センターの数値をもとに作成した6種類のグラフを参考に、武田氏が「平均して示した」ことを自らお認めになっています。

この「平均して示した」ことは、前回の申入書でも指摘しておりますように、古紙には多数の種類があり、発生量もそれぞれ異なるにも関わらず、その一部だけを足し合わせて「平均し」、「古紙価格平均値」と表記することは大変不適切だと当団体では考えております。

武田氏が、参考にしたデータに手を加え新たに作成したものであるならば、どのデータを、どのように加工したかを明記することは科学者としての常識であり、出典元にたいする礼儀であるとともに、読者に対する執筆者としての責任でもあります。それについて何一つ明記しないまま、筆者の加工データを「古紙問題市民ネットワークデータ」と標記することは、その加工データが古紙ネットの作成したものであるという誤解を読者に与え、当団体の信用を傷つけるもので、とうてい許容できません。

当団体は、このような不適切なグラフを掲載したことに対する、再三の抗議と訂正要求に不誠実な対応をし続けている著者・武田邦彦氏と出版社・株式会社洋泉社に、改めて強く抗議すると共に、以下の措置をとるよう要求します。

1. 当団体の名をかたり、当団体の信用を著しく毀損したことに謝罪すること
2. 当該書籍を速やかに回収すると共に、該当箇所を訂正すること
3. 当団体への謝罪及び回収と訂正に関する措置について、全国紙2紙以上、もしくは株式会社洋泉社のホームページに最低3年間は掲載すること

上記の件について、9月末日までにご回答をお願いいたします。ご回答は、当団体のHPおよび通信に掲載させていただきます。

古紙問題市民行動ネットワーク 代表 中村 正子
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-9-19-207 日本消費者連盟内